

## ならちゅうしん経営研究会 例会報告

### 第 326 回 研究会

**日 時** 平成 30 年 9 月 19 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分

**場 所** 奈良中央信用金庫 3 階 ホール

**講 師** 竹下経営革新事務所  
所長 竹下 富彦 氏

**テーマ** 事業承継セミナー「事業を引き継ぐとは」

今回の研究会は、奈良県中小企業診断士会より、竹下経営革新事務所 所長の竹下富彦氏を講師にお招きして、事業承継セミナー「事業を引き継ぐとは」をテーマに、ご講義を頂きました。

事業承継につきましては、これまでから何度も当研究会のテーマに取り上げてきました。会社が永続して発展していくためには後継者への円滑なバトンタッチが必要であります。今回はコンサルタントとして豊富な経験と実績をお持ちの竹下先生より、実例を交えて、より実践的なご講義を賜りました。

前半は、事業承継の概要について、経営（人）、有形資産（もの）、知的資産といった承継の対象となる事業の構成要素、そして奈良県における事業承継の現状についてのお話を頂きました。奈良県では、75%の企業で後継者がいるとのことで、比較的后継者対策が進んでいるようです。とは云うものの、後継者不在で廃業を考えている企業も一定数あり、後継者選び、そして後継者育成の重要性を説明頂きました。

中盤からは、余命 1 年の癌の宣告を受けたA社A社長の事例についてお話しを頂きました。当初は機械・設備を売却しての廃業を弁護士に勧められていましたが、A社には、「製品の強み」「顧客との深い信頼関係」「市場の成長性」が認められることから、社内に人材を求め、従業員承継を選択することにより、事業を継続することが叶ったと云うお話でした。

最後に、まとめとして、事業承継は早い目から準備をしていくこと、並行して自社の強み・企業価値に磨きをかけること、信頼できる相談相手を見つけることを、ご教示頂きました。竹下先生、有意義なご講義を賜りまして、ありがとうございました。

以 上

